

両磐構想区域の 区域対応方針の策定について



令和7年2月4日

岩手県保健福祉部医療政策室

- 1 地域医療構想について
- 2 推進区域及びモデル推進区域の設定について
- 3 区域対応方針（案）について

1 地域医療構想について

R6.3.29 厚生労働省
「第1回新たな地域医療構想等
に関する検討会」資料1



○ 地域医療構想は、**中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化**を見据え、**医療機関の機能分化・連携**を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とするもの。

① 都道府県において、各構想区域における**2025年の医療需要と「病床数の必要量」**について、**医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し、地域医療構想として策定。**

② 各医療機関から都道府県に対し、現在の病床機能と今後の方向性等を**「病床機能報告」**により報告。

③ 各構想区域に設置された**「地域医療構想調整会議」**において、**病床の機能分化・連携に向けた協議**を実施。

④ 都道府県は**「地域医療介護総合確保基金」**を活用し、医療機関の機能分化・連携を支援。さらに、自主的な取組だけでは進まない場合、「医療法に定められている権限の行使を含めた役割」を適切に発揮することで、地域医療構想の実現を図る。

○ 地域医療構想は医療法上、医療計画の一部として位置付けられており、本県では平成28年3月に策定。

○ 本県の構想区域は、二次保健医療圏（9圏域）と同様に設定。

岩手県地域医療構想



2 推進区域及びモデル推進区域の設定について

<概要>

- 「2025年に向けた地域医療構想の進め方について」（令和6年3月28日付け医政発0328第3号厚生労働省医政局長通知）で、**令和6年度からの新たな取組**として、病床機能報告上の病床数と必要量の差異等を踏まえて**国が推進区域及びモデル推進区域を設定**することが示されたところ。
（地域医療構想で定めている令和7年の必要病床数に近づける取組を強化する区域を設定するもの。）
- 「地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定等について」（令和6年7月31日付け医政発0731第1号厚生労働省医政局長通知）により、国が推進区域及びモデル推進区域を設定し、**岩手県では推進区域として両磐構想区域が設定されたもの。**

【設定の内容】

	推進区域	モデル推進区域
全国の設定数	各都道府県 1～2か所程度	推進区域のうち、全国14か所
設定の考え方	令和7年の必要病床数との差異が特に生じている区域等	推進区域のうち、特に国による重点的な支援の必要性が考えられる区域
取組内容	当該推進区域において設定している機能別の必要病床数に近づけるための取組等を定める 区域対応方針を令和6年度中に策定 、令和7年度に取組を実施	推進区域の取組に加え、国によるデータ分析等の技術的支援及び国庫補助金の優先的配分等による財政的支援の実施 （国によるアウトリーチの伴走支援）
岩手県	両磐構想区域	該当なし
設定の理由	岩手県内で急性期病床数が最も過剰である両磐構想区域を設定するもの(※)	—

※ 令和4年度病床機能報告の結果

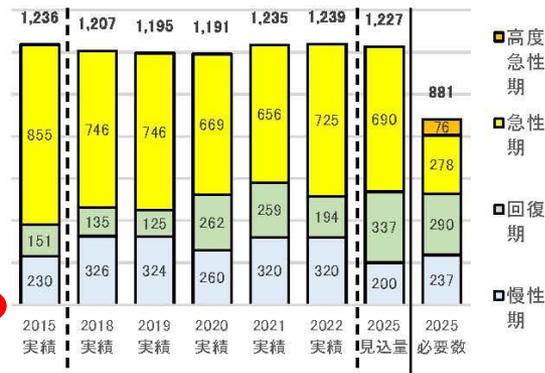
【参考1】病床機能報告上の病床数及び地域医療構想における2025年の必要病床数

出典：厚生労働省「地域医療構想 構想区域の病床数等」

【両磐構想区域】

(一般病床患者流出入)
(▲4.7%)

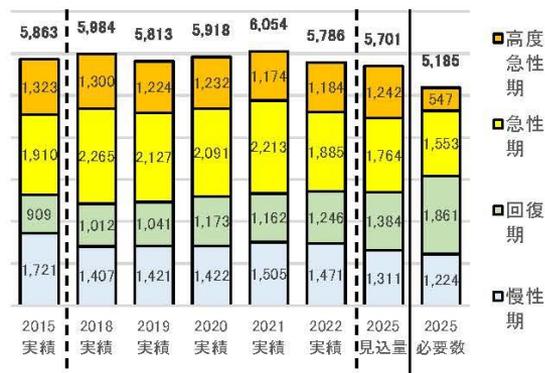
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	1,236	140%	1,207	1,195	1,191	1,235	1,239	100%	+3	1,227	881	139%
高度急性期		0%	0	0	0	0		-	-		76	0%
急性期	855	308%	746	746	669	656	725	85%	▲130	690	278	248%
回復期	151	52%	135	125	262	259	194	128%	+43	337	290	116%
慢性期	230	97%	326	324	260	320	320	139%	+90	200	237	84%
(報告率)	93.8%		100.0%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%					



【盛岡構想区域】

(一般病床患者流出入)
(+23.9%)

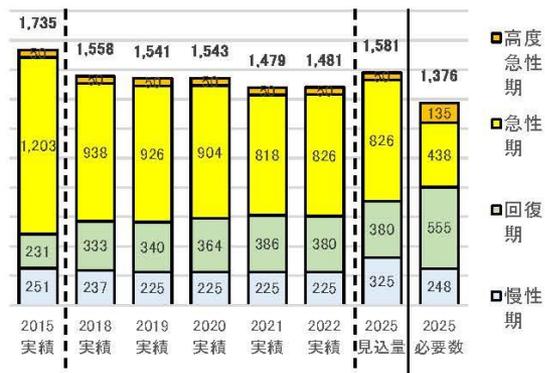
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	5,863	113%	5,984	5,813	5,918	6,054	5,786	99%	▲77	5,701	5,185	110%
高度急性期	1,323	242%	1,300	1,224	1,232	1,174	1,184	89%	▲139	1,242	547	227%
急性期	1,910	123%	2,265	2,127	2,091	2,213	1,885	99%	▲25	1,764	1,553	114%
回復期	909	49%	1,012	1,041	1,173	1,162	1,246	137%	+337	1,384	1,861	74%
慢性期	1,721	141%	1,407	1,421	1,422	1,505	1,471	85%	▲250	1,311	1,224	107%
(報告率)	94.7%		100.0%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%					



【岩手中部構想区域】

(一般病床患者流出入)
(▲9.4%)

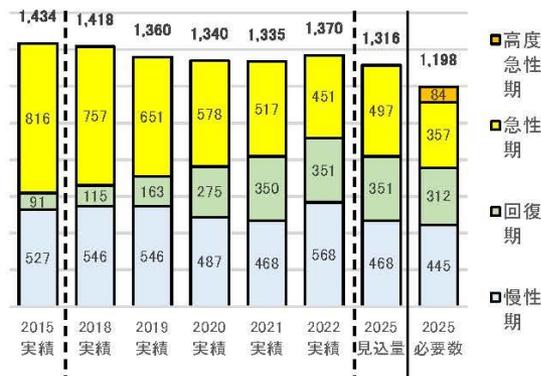
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	1,735	126%	1,558	1,541	1,543	1,479	1,481	85%	▲254	1,581	1,376	115%
高度急性期	50	37%	50	50	50	50	50	100%	-	50	135	37%
急性期	1,203	275%	938	926	904	818	826	69%	▲377	826	438	189%
回復期	231	42%	333	340	364	386	380	165%	+149	380	555	68%
慢性期	251	101%	237	225	225	225	225	90%	▲26	325	248	131%
(報告率)	92.9%		91.7%	90.9%	95.0%	95.2%	100.0%					



【胆江構想区域】

(一般病床患者流出入)
(▲11.0%)

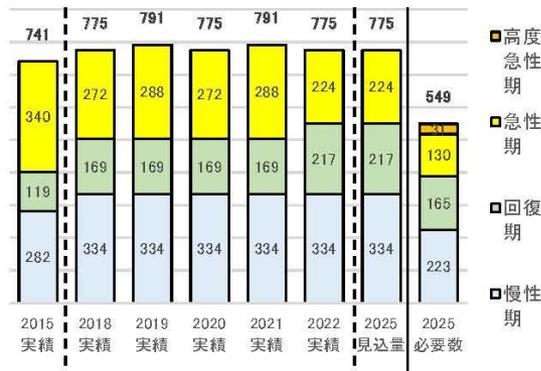
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	1,434	120%	1,418	1,360	1,340	1,335	1,370	96%	▲64	1,316	1,198	110%
高度急性期		0%	0	0	0	0		-	-		84	0%
急性期	816	229%	757	651	578	517	451	55%	▲365	497	357	139%
回復期	91	29%	115	163	275	350	351	386%	+260	351	312	113%
慢性期	527	118%	546	546	487	468	568	108%	+41	468	445	105%
(報告率)	95.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					



【釜石構想区域】

一般病床患者流出入
(+4.4%)

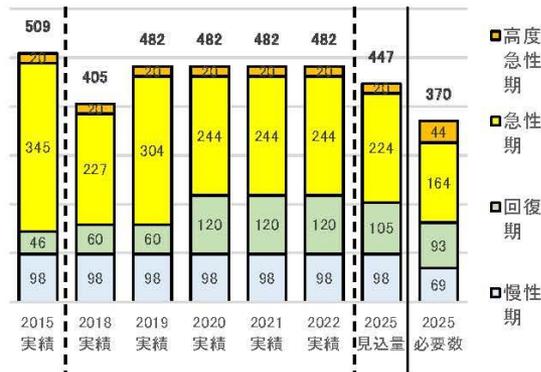
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	741	135%	775	791	775	791	775	105%	+34	775	549	141%
高度急性期		0%	0	0	0	0		-	-		31	0%
急性期	340	262%	272	288	272	288	224	66%	▲116	224	130	172%
回復期	119	72%	169	169	169	169	217	182%	+98	217	165	132%
慢性期	282	126%	334	334	334	334	334	118%	+52	334	223	150%
(報告率)	100.0%		85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					



【気仙構想区域】

(一般病床患者流出入)
(▲33.2%)

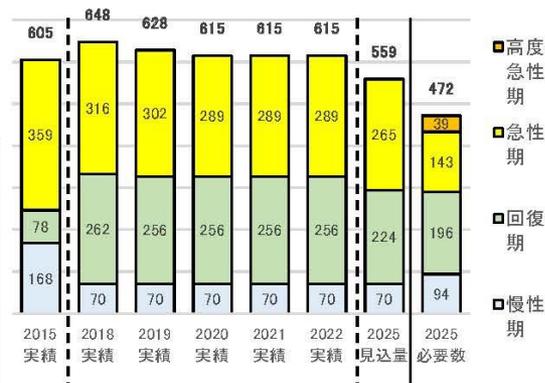
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2025年			
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	509	138%	405	482	482	482	482	95%	▲27	447	370	121%
高度急性期	20	45%	20	20	20	20	20	100%	-	20	44	45%
急性期	345	210%	227	304	244	244	244	71%	▲101	224	164	137%
回復期	46	49%	60	60	120	120	120	261%	+74	105	93	113%
慢性期	98	142%	98	98	98	98	98	100%	-	98	69	142%
(報告率)	87.5%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					



【宮古構想区域】

(一般病床患者流入) (▲38.3%)

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	605	128%	648	628	615	615	615	102%	+10	559	472	118%
高度急性期		0%	0	0	0	0		-	-		39	0%
急性期	359	251%	316	302	289	289	289	81%	▲70	265	143	185%
回復期	78	40%	262	256	256	256	256	328%	+178	224	196	114%
慢性期	168	179%	70	70	70	70	70	42%	▲98	70	94	74%

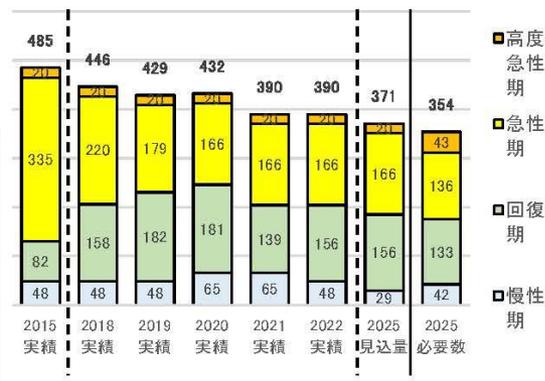


(報告率) 90.0% 90.0% 100.0% 100.0% 87.5% 100.0%

【久慈構想区域】

(一般病床患者流入) (▲32.9%)

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	485	137%	446	429	432	390	390	80%	▲95	371	354	105%
高度急性期	20	47%	20	20	20	20	20	100%	-	20	43	47%
急性期	335	246%	220	179	166	166	166	50%	▲169	166	136	122%
回復期	82	62%	158	182	181	139	156	190%	+74	156	133	117%
慢性期	48	114%	48	48	65	65	48	100%	-	29	42	69%

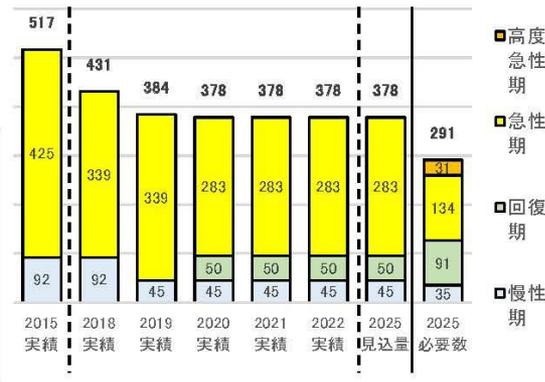


(報告率) 85.7% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%

【二戸構想区域】

(一般病床患者流入) (▲29.0%)

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み/必要数
合計	517	178%	431	384	378	378	378	73%	▲139	378	291	130%
高度急性期		0%	0	0	0	0		-	-		31	0%
急性期	425	317%	339	339	283	283	283	67%	▲142	283	134	211%
回復期		0%	0	0	50	50	50	-	+50	50	91	55%
慢性期	92	263%	92	45	45	45	45	49%	▲47	45	35	129%



(報告率) 100.0% 100.0% 88.9% 100.0% 90.0% 100.0%

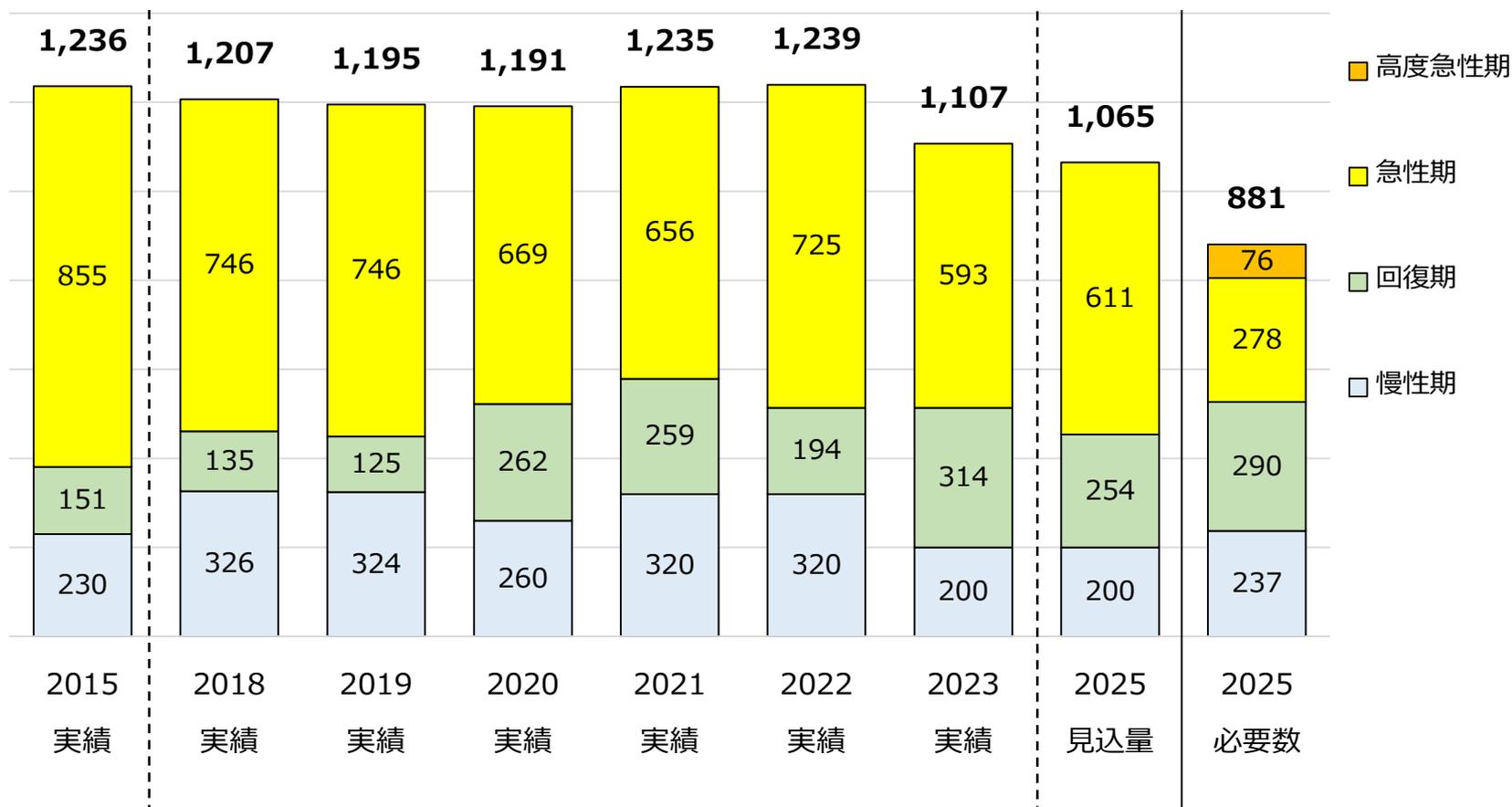
【参考2】病床機能報告の結果の推移

＜病床機能報告の結果の推移＞

- 両磐構想区域の病床数は、2015年に比べて2025年の必要病床数に近づいているものの、機能別では、**急性期病床数が過剰**となっている。

両磐構想区域の病床機能報告の結果の推移

(単位：床)



2023年度病床機能報告の結果（両磐・2025年見込量）

（単位：床）

医療機関名称	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
一関市国民健康保険藤沢病院			44		44
岩手県立磐井病院		305			305
岩手県立大東病院			40		40
医療法人西城病院					
一関病院		139	60		199
ひがしやま病院					
医療法人社団愛生会昭和病院		54			54
岩手県立千厩病院		60	60		120
独立行政法人国立病院機構岩手病院			50	200	250
医療法人清和会 岩手クリニック一関					
コスモスレディースクリニック		12			12
一関中央クリニック		17			17
齊藤産婦人科医院		12			12
くわしま眼科クリニック					
二宮眼科医院		12			12
合計 (A)	0	611	254	200	1,065
2025年必要病床数 (B)	76	278	290	237	881
割合 (A/B)	0.0%	219.8%	87.6%	84.4%	120.9%

【参考3】スケジュール

日 程	内 容
令和6年8月26日	○ <u>令和6年度第1回両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会</u> 開催 推進区域の設定について
12月10日	○ <u>令和6年度第1回部会</u> 開催 区域対応方針（素案）について
12月下旬 ～1月	○ <u>令和6年度第2回部会</u> 開催 区域対応方針（修正案）について
令和7年2月4日	○ <u>令和6年度第2回両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会</u> 開催 区域対応方針（案）の協議
令和7年度～ （予定）	○ 区域対応方針にもとづく取組開始

3 区域対応方針（案）について

岩手県地域医療構想により目指すべき将来像

患者のニーズに応じて高度急性期から、急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、また過不足なく提供される体制を確保するため、各構想区域において病床機能の分化と連携を推進し、効率的で質の高い医療提供体制を構築すること。

これまでの取組(2016～)

- 地域医療構想調整会議の開催
- 具体的対応方針の策定・見直しに係る議論
- 病床削減を伴う病床機能再編を行う医療機関への支援

- 病床機能報告や具体的対応方針により、地域医療構想の進捗を確認

国による推進区域の設定(2024～)

- 地域医療構想で定めている2025年の機能別の必要病床数に対し、両磐構想区域の急性期病床数が県内で最も過剰

必要量
278床

に対して

見込量
690床

構想区域の対応方針

限られた医療資源のもと、病床機能の分化と連携を推進し、効率的で質の高い医療提供体制を構築
→ 病床単位で医療機能を把握し、地域で現状や将来の医療需要を踏まえた医療機関の役割分担に係る議論を行う。

必要量との乖離に対する取組

- 医療機関に対し、病棟内で最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告するよう周知
- 病棟内で急性期と回復期が同数の医療機関に対し、回復期で報告するよう依頼
- 病床減少を伴う病床機能再編に取り組む医療機関に対し、財政的支援を実施

新たな地域医療構想に向けて

現行の地域医療構想の取組と並行して、国の検討状況を注視しながら新たな地域医療構想の策定に向けたデータ収集、分析等